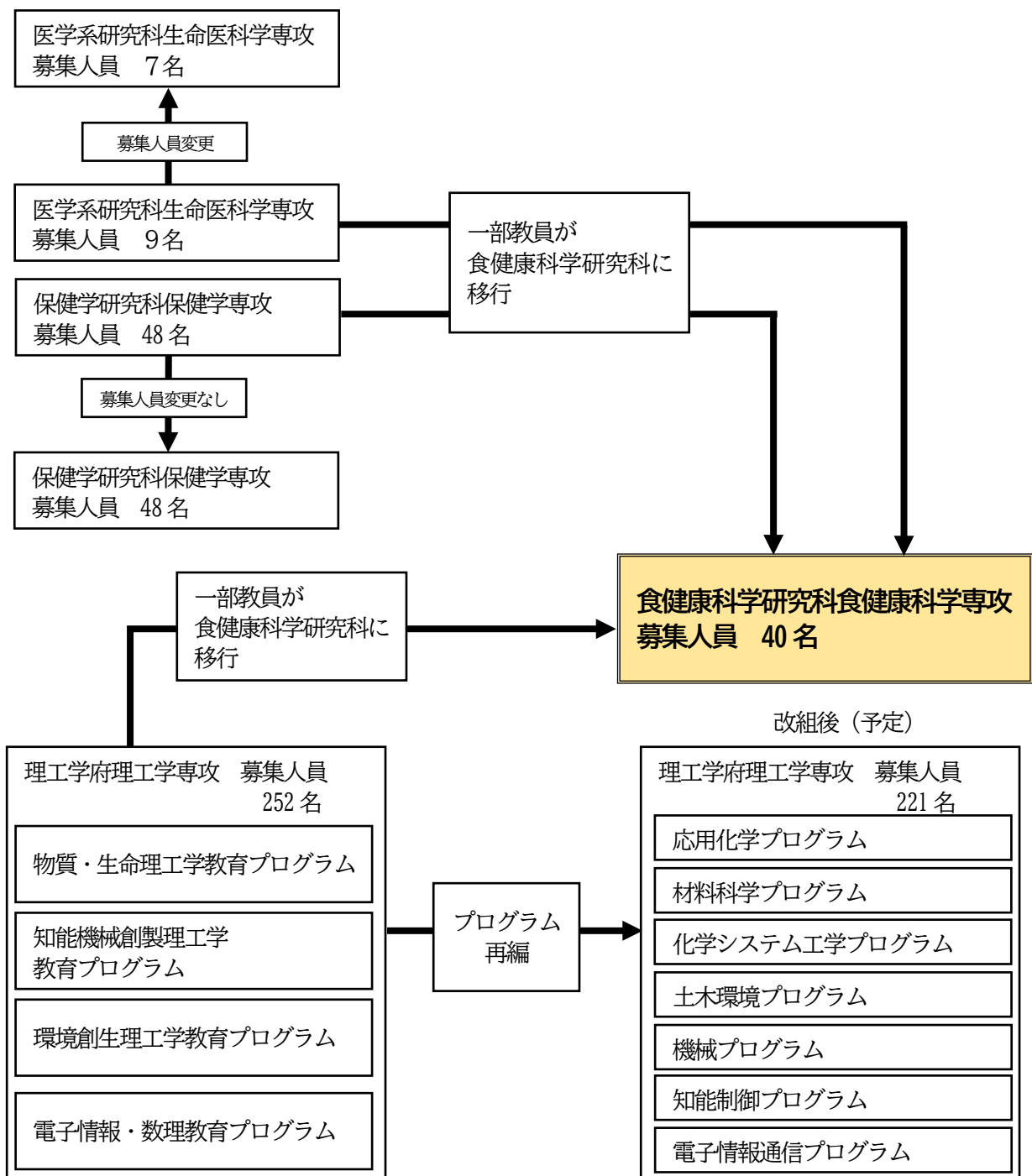


【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

【予 告】 群馬大学大学院食健康科学研究科（修士課程）の設置計画について

本学では、学士課程で修得した知識の上に、大学院で食品工学から健康科学にまたがる横断的な高度専門知識を身に付けることで、世界人口の健康向上、脱炭素社会の実現等の世界規模の課題解決や、高付加価値食品の開発等による地域の産業振興に資する人材を養成するため、2025 年 4 月に大学院食健康科学研究科食健康科学専攻（修士課程）を設置する計画であり、文部科学省へ設置申請をしております。

また、食健康科学研究科の設置に伴い、医学系研究科、保健学研究科及び理工学府において、一部教員の移行及び募集人員の変更を予定しています。



【設置構想中】掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

食健康科学研究科へ入学を希望される皆さんへ

2025 年度食健康科学研究科入学試験について（予定）

■ 食健康科学研究科の 2025 年度入学者選抜は、以下のとおり行います。

ただし、この改組計画については、文部科学省の審議結果（2024 年 8 月末見込）によって確定するものであり、変更があり得ます。

- 食健康科学研究科の入学試験は、文部科学省に設置計画が認可された後に、実施いたします（11～12 月頃に実施予定）。
- 食健康科学研究科に入学を希望する場合は、群馬大学大学院医学系研究科生命医科学専攻、保健学研究科博士前期課程または理工学府博士前期課程の入学試験を受験し、食健康科学研究科の設置計画が認可された場合、再度、食健康科学研究科入学試験を受験することもできます。なお、この場合、検定料を免除とする措置を講ずる予定です。

本設置計画が不認可となった場合、医学系研究科生命医科学専攻、保健学研究科博士前期課程または理工学府博士前期課程に入学することになります。

■ 食健康科学研究科に入学を希望する場合は、以下の教員と研究内容についてご相談ください。

■ 食健康科学研究科教員研究テーマ一覧

(Email address: @以下に gunma-u.ac.jp)

職 種	氏 名	研 究 テ ー マ
教授	板橋 英之 itabashi@	農作物への重金属取り込み抑制
教授	井上 裕介 yinoue@	生活習慣病を改善する食品の探索とその機能解明
教授	大西 浩史 ohnishih@	老化やストレス応答を制御する分子シグナルの研究
教授	粕谷 健一 kkasuya@	生分解性プラスチックが拓く環境調和型社会
教授	桂 進司 katsura@	食品に適用可能な新しいセンサーの開発
教授	鳥居 征司 storii@	食栄養科学研究から老年疾患の克服を目指す
准教授	井手野 由季 y-iden@	食生活などの女性の生活習慣と健康に関する疫学研究
准教授	大重 真彦 oshige@	自然界からの有用物質の探索
准教授	木村 孝穂 tkimura@	リポ蛋白リパーゼによる脂質代謝メカニズムの解明
准教授	島 孟留 ta-shima@	運動・スポーツで高まる脳機能の分子・神経機構解明
准教授	武野 宏之 taken@	食品ゲルのテクスチャーや構造を調べる

准教授	橘 熊野 tachibana@	バイオベース材料と生分解性材料で食品容器包装を作る
准教授	長井 万恵 kazue-nagai@	食生活などの女性の生活習慣と健康に関する疫学研究
准教授	原野 安土 azuchi@	粉体食品や結晶粒子に関する研究
准教授	樋山 みやび miyabi@	生物発光研究
准教授	町田 大輔 machi@	食生活学、公衆栄養学、ヘルスプロモーション
講師	岡見 雪子 okami@	食生活などの女性の生活習慣と健康に関する疫学研究
講師	常川 勝彦 ktsune@	群馬県民のヨウ素摂取状況と生活習慣病の関連についての調査
講師	藤原 亜希子 akiko_fujiwara@	共生を標的とした環境にやさしい農業病虫害コントロール技術の開発
助教	黒沢 綾 aya.kurosawa@	食品由来抗酸化物質の二面性を探る
助教	杉山 友太 sukiyama.yuta@	腸内細菌叢制御を介したヒト健康の促進
助教	鈴木 美和 miwasuzuki@	海洋分解性プラスチックが拓く持続可能な未来社会
助教	高橋 亮 rheo@	美味しく食べる
助教	谷野 孝徳 ttanino@	静電気技術を駆使して微生物と上手に付き合う
助教	二宮 和美 kninomiya@	食品から抽出した成分の機能性と加工特性の評価
助教	秦野 賢一 hatano@	食品廃棄物を使った作物の高付加価値化